

新入生のための 学習応援ガイド

基本編

中学校の学習は、夢を実現させたり、社会の一員としてまわりの人たちを支えたりして、生きていくための力を育てます。ここでは、みなさんに学習するためのヒントを教えます。

勉強がわかる 勉強が楽しい

ステップ5

積極的に参加する、積極的に発表する

◎実験や実技、話し合いには積極的に取り組もう

体験を通して学ぶこともたくさんあるはず
やったことはなかなか忘れにくい



ステップ4

問題をくり返し解く

◎問題が解けなくても、がっかりしない

わからない⇒わかるまで取り組む 勉強はその積み重ね



ステップ3

資料(プリントなど)を整理する

◎資料(プリントなど)は集めてなくさない

一度クリアファイルに集めて、あとから教科ごとに整理しよう



ステップ2

黒板の内容をノートに写す

◎先生の「ここが大事」「ノートに書きなさい」はビッグサイン

「ここが大事です」 ⇒ 大きくてめだつマークをつける
「教科書に印をつけなさい」 ⇒ すばやくマーカーでぬる
「ノートに書きなさい」 ⇒ ノートに書いてマークをつける



ステップ1

先生の話をしっかり聞く

◎「いま、何をやっているか」を常に考える

「いま何をやっているか」をわかっていることが、「勉強がわかる」の基本です



家庭学習のやり方

ポイント① 習慣をつけよう

◎やれるときにやるのではなく、毎日決めた時間にやろう
習慣による効果は、「慣れる」・「覚える」です。毎日練習することで学習することを意識せずに続けることができます。



ポイント② 復習しよう

◎忘れないうちにやれば、覚えるのは簡単
授業をいっしょうけんめいうけても、習ったことをそのままにしておくと、どんどん忘れてしまいます。1日たつと半分以上を忘れることになるのです。それをふせぐために必要なのが「復習」です。

人の記憶

学習後 1 時間⇒学習内容の約40%を忘れる
学習の翌日 ⇒学習内容の約60%を忘れる
学習後 1 週間⇒学習内容の約75%を忘れる

ドイツの心理学者の実験によると

復習は大切

練習問題のやり方

ポイント① 自分の理解度を確認めよう

◎基本問題に取り組む
基本問題に取り組んで、わからないところがあれば、その部分をまとめます。これをくり返すと、自分の「理解度」を確認することができます。



ポイント② 応用力をつけよう

◎考える力を身につける
「どうやって解こうか?」、「どう考えればいいのか?」、「どの法則を使おうか?」と考えます。このときが「考える力」を身につけるチャンスです。簡単にあきらめないで、いろいろな方法を考えてください。それでもわからなかったら、もう一度基本問題に取り組んで、しっかり基本を身につけて再度チャレンジしましょう。

ポイント③ 問題に慣れよう

◎問題を読むことに慣れる、問題を解くことに慣れる
多くの問題に取り組むと、問題文の大切なところがわかるようになります。「慣れる」ことで、読む力が上がり、読む速さも速くなります。また、問題の意味がわかったら、基本問題で理解したことをどのように使うか考えてみましょう。多くの問題を解くうちに、パターンがわかればしめたものです。